

## 日本代表チーム欧州遠征 (9)



Final A進出へ向け艇を出すLM4の選手たち（片岡選手（明治安田生命）、田立選手（戸田中央総合病院RC）、今井選手、西村選手（ともにNTT東日本））

World Cup II  
6/20（土）レース2日目

またもや朝より素晴らしいコンディションの中、レースを控えるLM4・LM2Xと、トレーニングのため高島選手がレース前に出艇しました。日本チームはFinal Cを4レース、Semifinalを3レース控えています。

左上: LM1x 古田選手  
(明治大学)



左下: LM2x 須田選手  
(アイリスオーヤマ)、  
浜田選手(明治安田生命)、



右上: ミーティング  
するLM4-の選手たち  
杉嶋選手、石田選手  
(ともに東レ滋賀)、  
小林選手(戸田中央  
総合病院RC)、陶山  
選手(明治安田生  
命)、大林コーチ



右下: LW2x 上野選  
手、上田選手(明治  
安田生命)



本日より最初のレースはLM1XのFinal CでJPN2古田選手が出漕。前半まで2着をキープし、互角に勝負していましたが。後半はじりじりと他フルーが迫りくる中、ラストは決死のスパートで猛烈に追い上げましたが、わずかに追いつけず4着でフィニッシュし16位となりました。このレースは古田選手と同年の選手が2人出場しており、非常に良い刺激となったのではないのでしょうか。タイムはここ三日間でベスト。まためきめきとスピードを伸ばしてほしいところです。



Final A進出を駆け奮闘するLM1x 福井選手(東レ滋賀)





Final A進出へ向けミーティングをするLM2xの中野選手（NTT東日本）、大元選手（アイリスオーヤマ）、大林コーチ

次はLM2XのFinal C、JPN2須田選手・浜田選手のレースです。

序盤より横並びの接戦が繰り広げられ、須田・浜田クルーはしっかりと2着を維持、ラストクォーターはデッドヒートとなりましたが、3着でゴール。15位確定となりました。オリンピック種目であるために非常にレベルが高いレースが繰り広げられていました。

LW2XのFinal Cは上野選手・上田選手が出漕。

苦しいレースではありましたが、高いレートで先頭クルーに食らいつき続け、5着でゴール。17位確定となりました。タイムはこの三日間でのベストタイム、07:07.02。第2戦でのレースを戦いながらよりよいスピードが出せるようになったのではないのでしょうか。第3戦では更なる進化が見られるはずですよ。

LM4-のFinal C JPN2は杉嶋選手・石田選手・小林選手・陶山選手のレースです。

序盤から第2Qまでトップの座をとり、どこよりも速く1000mを駆け抜けました。後半横並びの大接戦の末、決死のラストスパートをかけました。結果3着でゴールし15



LM4- (片岡選手 (明治安田生命)、田立選手 (戸田中央総合病院RC)、今井選手、西村選手 (ともにNTT東日本))

位確定です。タイムは6:01.92とこのフルーでのベストタイムとなりました。日を追うごとにいいレースができるようになっていきました。

いよいよ最初のSemifinalはLM1X JPN1 福井選手のレースです。

前半から攻めていき、500mを横一線4位で通過。徐々に差は開き始めましたが、ラストまで攻めの姿勢は忘れず、6着でフィニッシュ。7:04:66というタイムを出しましたが、Final A進出フルーは余裕の7分切りばかり。世界の壁の厚さを感じましたが、明日のFinal Bにていいレースを期待します。

LM2XのSemifinal はJPN1中野選手・大元選手が出場。上位3フルーがFinal Aに進出できます。序盤500mまでは横並びのレース、しかし徐々に上位3フルーとの差が広まっていきました。ラストはポーランドとの接戦に勝ち4着でゴール。Final Bに進出が決定。明日の組の中ではタイム順2位、どれだけ戦えるか期待が高まります。

本日日本勢ラストレースはLM4- JPN1 片岡選手・田立選手・西村選手・今井選手が出漕するSemifinalです。自国の応援を味方しているイタリア2フルー、ニュージーランド、フランス、中国といった手強いフルーが揃う中、500mまでは並んでいましたが、なかなかその後は追いつくことができず、苦しいレースとなり6着でゴール。Final A進出フルーは6分を切るのが最低条件といわんばかりの状況は現時点の日本チームなかなか厳しいところでしたが、明日のFinal Bではよいレースをしてくれることでしょう。

明日のFinal BにはLM1X JPN1福井選手、LM2X JPN1 中野選手・大元選手、LM4-JPN1 片岡選手・田立選手・西村選手・今井選手が進出します。

いよいよWorld Rowing Cup II 最終日突入、現時点での日本代表チームが世界の中でどこまで戦えるか、期待が高まります。どのフルーも万全の状態て明日の一番を迎えられるよう今夜のうちから集中している雰囲気でした。